

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		東京書籍

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> パンダのキャラクターが、各單元における働かせたい理科の見方・考え方を分かりやすく示している。 各単元の終末にある「ふりかえろう」では、学習内容が子どもの手書き風でより分かりやすくまとめられており、効果的なノート指導ができるように工夫された構成となっている。 児童が自分で観察・実験を行うことを意識して、より簡単で安全にできる方法が選択されている。また、方法の表記も写真で大きく示され、QRコードで動画でも確認できるようによく工夫されている。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 結果を整理するためのグラフの書き方や読み取り方等を使って、問題解決ができるようよく工夫されている。 「こんなところにも」では、日常生活以外にも、キャリア教育、SDGs、製造業等、理科と多様な分野とのつながりがわかるようによく工夫されている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に位置付けられている「レッツトライ！」には、個々の児童が自分で確かめてみたいと思わせる問いかけがある。児童の主体的な問題解決を促すために、児童を主語とした問いかけとなるようによく工夫されている。 「のぼそう！理科の力」では、イラストで、働かせたい見方・考え方や本時のポイントに関わる対話がなされるようによく工夫されている。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 第5学年の「流れる水のはたらき」において、川の上流から下流の違いを岐阜県の河川で説明がなされ、地域に愛着がもてるようによく工夫されている。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> QRコードの横に何ができるのかの記載があり、効率的にQRコードが活用できるようによく工夫されている。 理科の学習内容と関連付けながらプログラミング教育の体験ができるようによく工夫されている。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の児童や車椅子を使用している児童が活動をしている様子、男女が協力して実験や話し合いが行われている様子を取り上げ、様々な人々と協力して学ぶことができるようによく配慮されている。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の厚みや重量は、児童にとって負担のないものとなるようによく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> どの学年においても、ユニバーサルデザインフォントに統一して使用しており、重要語句・文章は太字で示されている。 自然、実験共に見やすい写真を効果的に配置し、児童の主体的な学びを促すようによく配慮されている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 理科の学び方やノートの書き方、コンピュータの使い方、施設の活用、理科室の使い方、観察・実験器具の使い方、算数とのつながりなどが巻末にまとめられ、学びやすいようによく工夫されている。 児童が見通しをもって学ぶことができるように、表紙裏と裏表紙に、その学年で学ぶ内容がわかりやすくまとめられている。

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		大日本図書

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・第4～6学年の巻末に理科室のきまりを示し、器具の正しい準備や片付けの仕方を児童自身が確認できるよう工夫されている。また、安全に配慮が必要な場面にマークと赤字で注意点を強調している。 ・ページ左に3色のラインを入れ、問題解決の流れを分かりやすくする工夫をしている。観察・実験とその結果は同じ見開きにならないように配慮され、登場人物の意見では「…」を使って全文を示さないようにし、児童自身が考えられる工夫もされている。 ・単元末問題では「確かめよう」で知識・技能の定着や活用する力を育てる工夫がされている。児童自身で答え合わせもできる。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・算数や過去に学んだ内容とのつながりをわかりやすく示している。 ・読み物資料で「環境・科学技術・理科と仕事・防災・伝統・英語・SDGs」を取り扱い、理科の有用性が実感できるようよく工夫されている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方につながる着目点を「ココに注目」で示し、児童自身が主体的に問題を見いだしたり考察を導き出したりできるようよく工夫されている。色分けされ、目に留まりやすい工夫もされている。 ・イラストで対話場面が仕組まれていたり、児童キャラクターが固定されて考え方のつながりや変容を意識できたりし、児童自身がどの登場人物の考えに似ているかを考えられ、工夫されている。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の地域の自然や施設の例を取り上げている。第6学年の火山活動の紹介に「ふん火した御嶽山のようにす」が掲載されており、飛騨の児童に身近な教材となるようよく工夫されている。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験、調べ学習などでのタブレット活用のヒントになる場面を写真やイラストで示している。またタブレットを活用した写真動画の撮影のコツや、インターネットを使用する際の検索方法や注意点を示しており、より効果的に活用できるようよく工夫されている。 ・第3～5学年ではプログラミング的思考を意識した内容を取り扱い、第6学年ではセンサーを使ったプログラミングの活動を紹介している。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・男女・外国人が写真やイラストで登場し、様々な人々が協力し合っって学び合えるようによく配慮されている。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の厚みや重量は児童にとって負担のないものとなっている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの観点からフォントや配色に配慮がされており、見やすく読み間違いにくくなるよう工夫されている。 ・ウェブコンテンツへの二次元コードの位置が固定されていて、探しやすくなっている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に実験器具の使い方がまとめられていて、複数の単元で使用するものについて活用しやすいようになっている。

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		学校図書

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 記録や発表などの方法が複数提示されており、その中から自分の力にあった方法を選択して学習に取り組むことができ、個々の能力を伸ばせるようによく工夫されている。 各学年で主に育成したい見方・考え方を意識した単元構成となっている。また「問題」から「わかったこと」までを矢印でつなぎ、解決すべき問題は何かを常に意識しながら実験や観察を行い、考察できるような工夫もされている。 一つの問題を解決した後や単元末において、評価の観点を具体的な姿で示すことで自己評価しやすいようになっており、学びを改善したり、自己の成長を実感できたりするように工夫されている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことが生活の中に生かされていることを資料で紹介したり、裏表紙の目次には単元とSDGsの目標とをつなげて位置づけたりするなど、身の回りの世界に関心を持ち、視野が広がるように工夫されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入ページでは、児童キャラクターの言葉から学習の見通しがもてるとともに、身に付けたい力について具体的な姿で示されていて、主体的に学習が進められるようによく工夫がされている。 予想や考察の場面では、児童キャラクターの会話から話し合いがイメージでき、対話で考えを深められるように工夫されている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年「地震による大地の変化」では濃尾地震のことについて記述され、身近なところに災害があることについて学習ができる。自然災害に関する資料も多く取り扱われており、防災の意識が高められるようによく工夫されている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 実験の仕方、器具の使い方などにQRコードを表示し、デジタルコンテンツで確かめながら自分たちで正しく行えるようによく工夫されている。 外部とのリンクがあり、自分の調べたいところを選んで情報収集することができるように工夫されている。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターや活動写真は、男女バランスよく掲載されており、男女平等で協力しながら学びを高め合えるように配慮されている。
3	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の厚みや重量は児童にとって負担のないものになっている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 本文や児童キャラクターの吹き出しなどで文字の大きさを変え、読みやすいように工夫されている。 調べる活動において、図や写真、手書きの文字や記録例が効果的に用いられ、見通しをもって活動できるようによく工夫されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に索引があり、その学年で学んだ大事な言葉や、器具の使い方などが探しやすいようよく工夫がされている。

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		教育出版

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において裏表紙に観察・実験を行う際の注意・危険事項を掲載し、安全に対する配慮がされている。また、観察・実験の記録例を手書き風に示すことで、児童が自分の力でまとめられるように工夫されている。 ・予想、計画、結果について話し合う場面では、見方・考え方を働かせた児童の発言の具体例が示され、児童が問題解決をする際の参考になるように工夫されている。 ・各学年で主に育成を目指す問題解決の力を育てたい場面では、「〇年のチカラ」とマークを付けるとともに児童キャラクターの発言に対する教師キャラクターの助言を掲載し、児童の問題解決の力を伸ばせるよう工夫されている。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で学んだ、自分の考えを伝えるための「話し方」を示し、結果や考察の交流が充実するよう工夫されている。 ・各学年の巻頭では、SDGsに関連させて、主に育成したい力を示す工夫がされている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・予想、計画、結果について話し合う場面では、見方・考え方を働かせた児童キャラクターの発言例にカギマークとマーカーをつけて掲載し、対話的な学びが喚起されるようによく工夫されている。 ・単元の導入で児童キャラクターが疑問や気づきを示し、学習前の姿を自分自身と重ね合わせながら主体的に学習ができるよう工夫されている。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・川や土地などの学習で、第5学年「川と災害」、第6学年「地震や火山と災害」を設け、学習内容と関連させて自然災害とその対策を扱うことで、児童が問題意識をもって、防災や減災の取り組みについて考えられるようによく工夫されている。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末では、タブレットやパソコンを使用する際の注意や使うときのルールが記されている。 ・デジタルコンテンツで学んだこととSDGsに関連する問題を調べることができるよう工夫されている。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子を使用している児童や外国人の児童と一緒に活動する様子を取り上げることで、様々な人々と共に生活し、適切に行動ができるように配慮されている。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の厚みや重量は児童にとって負担のないものとなっている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は太字・黄色囲みで、見方・考え方がピンクで強調されている。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて理科を学ぶ第3学年の巻頭では、生活科から理科への橋渡しのページを設けるなど配慮をしている。

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		信州教育出版社

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの記載内容が、問題に正対した結論になっていたり、定義や重要語句がまとめられていたりして、知識・技能の定着につながるよう工夫されている。 ・児童や教師のキャラクターの発言によって見方、考え方が示しており、それらを生かして問題解決できるように工夫されている。 ・単元導入時と単元終了時を比較したり、振り返りの場面の設定をしたりして、学びに向かう力を喚起するよう工夫されている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・理科と環境保全とつながりを実感しながら学ぶことができるよう工夫されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で巻頭の説明において、結果の記録後に調べた結果と予想を比べて考えるよう示している。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設、自然災害との関連を取り上げているページがあり、防災の意識を高めていけるような構成になっている。
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連付けを図りながらプログラミングを体験する活動を設定している。 ・プログラミングの体験ができる教材を紹介している。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や様々な人種の子どもたちの挿絵やキャラクターを登場させ、多様な児童が協力して学ぶことができるようによく配慮している。
3	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の厚みや重量は児童にとって負担のないように、よく配慮されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの難しい漢字にふりがながついている。 ・児童が端的に読み取れるよう、学習問題、観察・実験などの文字の種類や大きさが変えてある。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭、巻末資料には、理科の学び方、観察の仕方、記録の書き方、理科室の使い方、インターネットで調べてみよう、次学年に向けて、科学者の紹介など、学びを深める工夫がされている。

教科	種目	意見書	発行者
理科	理科		啓林館

	着眼点	意見
	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・実験を行うときの注意事項が橙色で書かれており、実験の仕方が視覚的に分かりやすくなるよう工夫されている。 ・学習の学びのサイクルを図で示したり、緑色のマーカーで見方考え方を強調したりすることで、問題解決に向けての視点が明確になるよう工夫されている。 ・章の始まりに問題を考えさせる項があったり、章の終わりに「くらしとリンク」で生活とつなげたりすることで、学びに向かう力を喚起するよう工夫されている。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科につながる算数のまど」で、平均の求め方やグラフの書き方等、算数を使って問題解決ができるようよく工夫されている。 ・「ウィズアース」で防災教育とリンクしたり、SDGsにもつながっていたりして、理科の有用性が実感できるようよく工夫されている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・問題をつかむ場面や、考察する場面で、複数のキャラクターがつぶやく挿絵を使うことで、対話の視点を紹介し、授業改善につなげている。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設、自然災害との関連を取り上げているページが豊富であり、防災の意識を高められるよう、よく工夫されている。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・外部のリンクとつなげたり、たしかめようで解説をしたりするQRコードがあり、一人でも学ぶことができるようになっており、個別最適な学びに適している。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や挿絵は、男女の役割を固定せず、互いに協力しながら活動する様子を描写するなど、性別、人種、身体的特徴によく配慮している。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の厚みや重量は児童にとって負担のないように、よく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの難しい漢字にふりがながついている。 ・重要語句は太字で見方・考え方は緑色で強調されている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭、巻末資料には、理科の学び方、ICTの活用、ノートの書き方、発表・話し合いの仕方、施設の利用、算数とのつながり、1年間のまとめ、次学年に向けて、ものづくり広場、理科の見方・考え方、科学者からのメッセージなど、学びを深める工夫がよくされている。